



～ひがしの窓から～

みのいの秋を迎えました 5年生が 稲刈り をおこないました。

9月16日、良く晴れた一日。5年生は稲刈りを行いました。土を新たに補充し、田んぼを整えるところから始まった、今年の米づくりでした。稲をかまで刈る“ザクッ”という感じの気持ちよさ。子どもたちは感じてくれたでしょうか。今年のお米は、良い出来だとのこと。

さて、稲刈りも終盤を迎えたころ、何やら悲鳴が！？ 大きなウシガエルです。斎藤先生の両手に押さえられたウシガエル。もしかして、この土地の主(ぬし)かもしれません。主はそっと草むらに放されました。これからも田んぼと、子どもたちを見守ってくださいね。



(左上) 地域の貝沢さん 平野さん 風間さんにご指導いただきました。

(左下) 稲の束ね方も、予習済みです。

(右下) 稲の束をいっぱい抱え、乾燥場所に運ぶ子どもたち。稲の重みを感じます。

斎藤先生 花岡先生 青野先生 日頃の管理お疲れさまでした。地域の皆様からご指導や、見守りをいただき、心より感謝いたします。この学校田は、東青山小学校の子どもたちにとって大事な学びの場です。

ここまで頑張った姿 ぜひ見てもらおう！



4年生 六階節発表会を開催しました。

毎年、4年生は地域の民謡“東青山六階節(ひがしあおやまろっかいぶし)”に取り組んでいます。昔、各地域で六階節を唄い、踊り、地域の人たちが楽しんでいました。この地域の人へのインタビューから始まり、平島六階節と青山六階節を合わせ、オリジナルの東青山六階節が誕生したのが、今から12年前。それ以降、4年生が引き継ぎ、9月の東青山ふれあい祭りで披露していました。



- (左上) **笛の駒沢先生** 子どもたちは、限られた時間の中、リコーダーで挑戦しました。
- (右上) **太鼓の山田先生** 樽太鼓も加わり演奏に活気が出ました。
- (左下) **唄の鈴木先生** 子どもたちに“楽しんで唄うこと”を教えてくださいました。

2年続けての“東青山ふれあい祭り”の中止が決まったのは8月中旬のことでした。ここまで頑張ってきた六階節をどうまとめるのか、4年生の先生方は考えたと思います。六階節発表会を開き、その様子を撮影し、保護者の皆さんにも観ていただくこととなりました。4年生全員で法被をキッチリ着こなし、なかなか素敵です。

発表を終えた4年生から、3人の先生方に感謝の言葉と、感謝状が手渡されました。

“最初はむずかしいなあと思っていたけれど、練習していくうちに楽しくなっていました”

“みんなで唄うことが、だんだんと、楽しくなっていました”

後日、その時の動画を、ふれあい祭り実行委員長の小野さんと観ました。今の4年生が入学してきたときからボランティアとして関わってきた小野さんは、子どもたちの成長を嬉しく感じたそうです。地域に見守られるとは、こういうことなのだと感じました。

(コーディネーター 高橋)

